

# 魚山余響略註

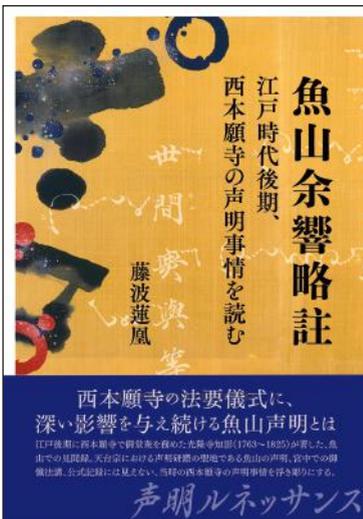
—江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む

ふじなみ れんおう

藤波蓮凰著

▼A5判・上製カバー・456頁・定価 一三、二〇〇円

2024年9月刊行



## 【目次(抄)】

- 一、『魚山余響』について
- 二、『魚山余響』の位置と内容
- 三、『魚山余響』から見える側面
- 附論 西本願寺における法儀声明の変遷

## 二、『魚山余響』脚註および解説

### 凡例

- 第一条 余少より梵唄を好む、
- 第二条 理覚院惠観和尚は越後高田の人なり、
- 第三条 梵唄の曲折に秘事あることなし、
- 第四条 長音は魚山の極秘、
- 第五条 梵唄は口授を要とす、
- 第六条 聲明の曲節は古製にしくはなし、
- 第七条 六冊、法華懺法、例時作法阿弥陀悔過等
- 第八条 法要に聲明は大原千本とて両流あり、
- 第九条 三井寺に長聲職とて聲道を掌れる家あり、
- 第十条 吾本山信解院殿魚山幸雄僧都に仰せて梵唄数品を製せしむ、
- 第十一条 例時作法を本山に依用し給ふは、
- 第十二条 大谷殿にて例時弥陀經を用ひたまふ思召につき、
- 第十三条 吾本山に於て魚山の梵唄を用玉ふ事は実悟記等に見ゆ
- 第十四条 阿弥陀懺法の中に観無量寿經真身觀の章を抄出す、
- 第十五条 魚山へ遺さる草本も上へ奉らる、
- 第十六条 真身觀の章に新に墨譜なりて
- 第十七条 知観僧正撰取章の墨譜成て後大經の題目に墨譜を施さる、

江戸後期の西本願寺の僧・知影が著した、魚山での見聞録。魚山声明や、宮中での御懺法講、当時の西本願寺の声明事情が浮き彫りに。

- 第十八条 恩徳讀も知観僧止の墨譜なり、
- 第十九条 文化六年冬の頃播磨の国の僧侶魚山実光院といへる人を請し
- 第二十条 文化四年丁卯十月十日より十二日に至る清涼殿に於て

(以下略)

主要参考文献一覧

あとがき

索引

### ◆著者略歴

藤波蓮凰(ふじなみ れんおう)

一九七七年、京都市生まれ。一九九〇年、龍谷大学文学部仏教学専攻卒業。一九八八年一〇月、常楽台主今小路覚真師に師事し、浄土真宗本願寺派にて得度。  
水原夢江師・多紀頼忍師に師事し、魚山声明を学ぶ。大八木正雄師に師事し、水原師相伝の魚山声明および古儀の本願寺派声明を学ぶ。浄土宗西山三派と浄土真宗本願寺派の僧侶有志とともに、『蓮門課誦(往生礼讃偈)』を考究する「西山蓮門課誦研究会」にも参画した。二〇一四年三月、天台宗・魚山浄蓮華院にて、多紀頼忍師より「唄伝授」を受ける。  
本願寺出版社刊『伝道』編集委員、魚山勝林院開創一千年紀実行委員会監事を務めた。真宗佛光寺派より、御進講講師(声明)を拝命。本願寺派伝道院修了、本願寺派勤式指導所研究生課程修了。現在、浄土真宗本願寺派布教使、本願寺派特別法務員名簿登録。西六条魚山会会員、大原魚山声明塾塾生。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館	
定価 一三、二〇〇円	
藤波蓮凰著	
魚山余響略註	
—江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む	
ISBN:978-4-8318-6288-4 C3015	
お名前	お電話
	住所

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗